

おのみち 市議会だより

第48号
5月10日発行
令和6(2024)年

発行：尾道市議会 〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号 TEL(0848)38-9371 FAX(0848)38-9339

ホームページ <https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/gikai/>

尾道市議会

検索



「橋と風景」堀込結人さん（群馬県立前橋東高等学校）－第12回高校生絵のまち尾道四季展「尾道賞」受賞作品－

目次 2月定例会

予算審査……………	2-4	議案等に対する各会派等の賛否一覧 ……	10-11
総体質問……………	5-8	ピックアップ議案 ……	11
意見書/東部ブロック研修会報告 ……	9	提言書提出/市議会案内/編集後記 ……	12

特集

予算審査 令和6年度予算可決!

令和6年度予算とその関連議案については、議長を除く全議員で構成される予算特別委員会（委員長：星野光男／副委員長：石森啓司）を設置し、3月11日から14日の4日間にわたって審査を行いました。

審査の結果は、3月19日の本会議で報告し、討論、採決の結果、付託を受けた議案すべてを原案のとおり可決しました。

令和6年度予算 (※1万円未満四捨五入)

一般会計	642億1,000万円
特別会計(8会計)	348億 964万円
企業会計(3会計)	258億6,403万円
総 額	1,248億8,367万円

一般会計
歳入

歳入全般

- 問** 法人税割を納めている会社の割合は。
答 均等割のみを納めている法人にあっては約61%、法人税割を納めている法人にあっては約39%である。
- 問** 市の旅先納税制度の知名度向上に向けた取組は。
答 地場産品基準を満たす物品について事業者に紹介するなど周知に努めていきたい。

一般会計
歳出

防災・まちづくり

- 問** 災害時の宿泊施設利用に関する協定を市内全ての宿泊施設と締結してはどうか。
答 地域的なバランスも取って、比較的大きな施設を持っているところと締結しており、現時点ではこの施設で進めていく。
- 問** 各町内会活動費において、世帯数の異なる旧尾道地域の町内会に一律1万円増額とする理由は。
答 町内会単位で申請手続の方法が変わってくる可能性があるため、当該手続に係る

負担軽減や基盤強化を図るためのものである。

一般会計
歳出

福祉

- 問** 敬老バス優待乗車証等交付事業に関わり、項目にしまなみ海道通行料金の助成を加えることについての調査結果は。
答 現在の運用システムでは難しいが、継続して研究している。
- 問** 福祉まるごと相談事業の予算が倍増している内容は。
答 福祉に関してどこへ相談したらいいかわからない場合の相談先として、セーフティネットの機能を有しているが、重層的支援体制整備事業の本格実施に伴い、委託先の社会福祉協議会で、福祉専門職を新たに2名採用するための人件費である。

一般会計
歳出

子育て

- 問** 0から2歳児の保育料第2子以降無償化について、きょうだい数算定の方法は。
答 現状は、就学前のきょうだいのみの数

を数えて、第1子全額負担、第2子半額負担、第3子以降全額無償となっているが、本市独自にきょうだいの年齢の上限を撤廃し、本来のきょうだいの数で算定することで、多子の子育てを経済的に支援していくものである。

問 (仮称) 北部認定こども園建設事業の進捗状況は。

答 今年1月から敷地造成工事を開始し、現在は、建築設計事業を並行して行っている。造成工事は令和6年8月を目途に完了させ、建物の建築工事を発注していく。

一般会計
歳出

教育

問 統合小・中学校の校名の決定方法は。

答 各校育友会の代表、各校校長、教育委員会4名の計17名からなる開校準備委員会において、各校持ち帰って意見を吸い上げ、最終的に投票により決定している。

問 因島学校給食共同調理場整備の進捗状況は。

答 現時点での工期等の変更はないが、事業者より一部の作業時間を要しているという報告を受けている。予定どおり工事が進むよう、努めてまいりたい。

一般会計
歳出

しごと・産業

問 就職学生支援事業の内容は。

答 UIJターンにより本市へ移住・定住する東京圏の学生に対し、県内企業の採用面接を受けるための交通費を補助するものである。6月1日以降に行った採用選考面接にかかる交通費の片道相当1回分が対象となる。国の地方就職学生支援事業の枠組みの中で、県と市町が連携して実施するので、国と県の要件を全て満たすものが支

給対象となる。

問 有害鳥獣対策と広島県中間支援組織負担金の内容は。

答 鳥獣防護柵の設置費用の補助や、センサーカメラ等の導入、イノシシ捕獲檻等の購入等であり、広島県中間支援組織へ参加することで鳥獣被害対策の専門知識を有する専任者の派遣を受け、被害相談や指導を強化する。

問 農家が増えないと食材も増えない状況で、農業振興費全般について、今後も同程度の予算計上となるのか。

答 農業振興費は農業の担い手育成、農地の利活用促進、食の安心・安全などの農業振興政策を推進するよう事業費を計上している。補助金に関しても生産者の声を聞いて積み上げたものであるが、それを上回る取組み、前倒しでの取組みを進めてまいりたい。

問 立地適正化計画の概要及びメリットとデメリットは。

答 都市再生特別措置法により都市拠点への居住機能及び医療福祉、商業施設等の都市機能の誘導を図るための計画であり、将来にわたり市民の生活を支えていくため、生活利便性の向上や行政運営の効率化を図るものである。メリットとしては、商業施設や病院などを効果的に提供していくことができるまちづくりになること。デメリットは、集約型都市のような概念が先行し、周辺の地域はどうなるのかと懸念される場合があるが、立地適正化計画の目的を十分に説明しながら対応してまいりたい。

国民健康保険事業特別会計

問 予算全体の概要は。

答 保険料の増加であるが、新年度、県単

位化に伴い、県から事業費納付金を納めるよう通知された。この納付金は県内のすべての医療費を推計後、国等の公費も算定し、残りの必要な保険料として集めるべき金額をそれぞれ市町の被保険者数等で案分した上で通知しているものである。また、医療費については、高齢者の割合が増加し、医療の高度化や高額な薬剤等の開発等もあり、一人当たりの医療費が上昇したため伸びている。

介護保険事業特別会計

問 地域支援事業費の減少の要因は。

答 コロナ禍の影響もあり、支援認定されている方のデイサービスやヘルパーの事業実績が伸びなかったためである。

後期高齢者医療事業特別会計

問 今後2年間保険料はどうか。

答 2年ごとに、広島県後期高齢者広域連合が保険料率等を決定しており、次期令和6年7年の保険料率が現在の保険料率よりも上昇することになったため、新年度予算についても保険料収入が増加している。それ以外にも被保険者数の増加やそれに伴い医療費の増加のため、必要な保険料の総額も上昇している。

病院事業会計

問 市民病院新築移転の方向性に至った理由は。

答 古い建築基準での建築であることや建て増しを繰り返していることもある中で、医療の状況等も大きく変革し、今現在必要とされる役割や医療提供に支障をきたすなどの課題が表出してきた。市民病院の基本計画では市民病院の建て替えを視野に検討を進め、様々な課題を整理する中で、地域

医療を守り、公立病院としての役割を効率的効果的に果たしていくためには建て替えが必要との考えに至った。

尾道市立大学図書館関係

問 大学図書館の建設について、その方向性に至った経過は。

答 2005年に大学図書委員会から当時の収蔵数と増加数を見込んで40万冊収蔵可能な新図書館建設の要望書が大学長あてに提出され、合併特例債を活用できる2025年から逆算して2022年10月には設計業者を決定することを前提に、2022年6月に学内でワーキンググループを立ち上げた。その中で現在の図書館は書庫として残しそこに15万冊を収蔵し、残りの25万冊収蔵可能な新図書館を建設するという基本構想がまとめられた。

問 図書館のありようも時代の変化とともに変わってきており、DXあるいはITに向けた環境整備が整えば新図書館建設というような器は必要ないのではないか。

答 簡単な情報はインターネットで入手することはできるが、じっくりと学ぶような情報はまだ書籍に頼らざるを得ない。また人文系では古い書籍から学ぶことも非常に多く、そうした古い書籍は電子化されておらず、電子化されている学術書籍や刊行物、論文等もごく一部なので書籍の必要性は非常に高い。

問 市民に開かれた大学図書館として、市民に提供される便益は。

答 市民との共用スペースとして会議室やギャラリースペース、飲食可能なラウンジがあり、また書架と閲覧席が近く、開放的な空間で快適な利用環境を提供できる。



潮風おのみち
(※現在は無所属)
まきはた しんいち
巻幡 伸一



市長の政治姿勢

議員 地場中小零細企業や地域商店街の振興、スタートアップの促進で納税者数の増加を目標に、物価高騰、行財政運営、少子化対策などの諸課題に、スピーディに計画を策定していく必要がある。

市長 少子高齢化や人口減少は、取り組むべき課題である。新年度予算では、出産・子育て応援、教育環境の充実に予算配分している。

議員 企業として外国人研修生も創造する日本の人材として、生かせる職場づくりに傾注させる必要があるのではないか。

市長 人手不足が深刻化するなか、外国人材の存在は重要である。住みやすく、働きやすい環境の整備に向け、支援を検討してまいらる。

南海トラフ地震について

議員 南海トラフ地震発生を想定した備えについて伺う。

市長 防災拠点となる本庁舎と支所を建設し、防災ラジオや防災アプリ、学校施設等の整備も進めてきた。発生した際に、各職員が取る行動をまとめた初動手順書の作成に取り組み、地域防災力を強化するため、自主防災組織を通じた防災訓練などの支援に努める。

消防行政

議員 多様化、複雑化する災害への対応力を確保するための人員や資機材の充実、高度救助隊、救急救命士の再教育、職員の養成などの整備計画の進捗はどうか。

市長 大規模な自然災害に対応するため、人材育成や施設及び装備は計画的に取り組んでいる。

消防業務の高度化に対応するため、広島県消防学校や消防庁消防大学校に職員を派遣し、また救急隊員や救急救命士を養成している。



市民連合
やまね もとつぐ
山根 基嗣



国の新年度予算について

議員 防衛費は2027年度までに総額43兆円もの膨大な予算が計画されている。一方子育て支援には、特例公債を発行するとして負担の先送りを招く。安全・安心な市民生活に向け、予算の組み換えが必要ではないか。

市長 財源や負担のあり方、防衛費については、国会の予算審議で十分に議論が尽くされるべきである。

子育て支援・女性の転出について

議員 尾道市内で女性の正規雇用の増加や住環境など安心して子育てができる対策が必要ではないか。

市長 尾道市内で女性の正規雇用は5年前と比べて0.5ポイント上昇している。尾道で暮らすことに幸せ感を感じてもらえるよう取り組む。

新年度における農業政策について

議員 有害鳥獣被害対策（イノシシ・サルなど）への取りくみと農業振興への予算増額が必要ではないか。

市長 県と連携し、「中間支援組織」を設立し、被害低減に努める。農業振興費の予算では、農業の担い手や農地の利活用促進、食の安全・安心などの推進に適切な事業費計上を行っている。

教育について

議員 「教育環境整備」「インクルーシブ教育」「英語教育」「教職員の働き方改革」など多くの課題がある。取組について問いたい。

教育長 教育環境整備は学校やPTAの要望に対応していく。障がいのある子もいない子も同じ場所で共に学ぶ「インクルーシブ教育」をめざす。

「英語教育」は学校生活で英語を使用する機会を増やし、外国語指導助手が英語以外の授業に参加し、英語を通して教職員が子ども達と触れ合う時間を確保できるよう取り組む。



木曜会
おおもと かずひで
大本 和英



消防関係の防災・減災対策

議員 消防団と常備消防の役割分担や合同訓練並びに教育訓練について伺う。

市長 利用状況に応じた割引のほか、尾道市や文化協会の主催、共催、後援などの場合は使用料の減免をしており、こうした制度を積極的にご利用いただきたいと考えている。

英語教育

議員 英語教育の基本的な考え方と今後の方針は。

教育長 英語によるコミュニケーション能力は生涯にわたる様々な場面で必要となっている。本市においても、増加する在留外国人や外国人観光客とコミュニケーションを図るため、児童生徒が毎日英語に触れ、活用できる場を各学校がアイデアを出し、日常生活において英語でやり取りができることを目指した取組を進めてい



新誠会
ふじもと ともゆき
藤本 友行



— 失われた30年からの学び — 「市民の耐震化」について

議員 令和6年は尾道市において何の記念すべき年か。

市長 向島町、御調町合併20年の年。

議員 尾道市の出生数が500人を切る記念の年ではないのか。

市長 500人を切らない努力をする。

尾道市の「家族のカタチ」の推移

国勢調査

	昭和の時代	平成の時代	令和の時代
1人世帯	10%	25%	40%
2人世帯	25%	30%	35%
3人以上世帯	65%	45%	25%
子どものいる世帯	45%	25%	10%

く。

スポーツを活かしたまちづくり

議員 スポーツ大会、スポーツ合宿の誘致など、びんご運動公園等のスポーツ施設を活用した取組を進めていく考えはあるか。

市長 びんご運動公園では現在、球戯場の人工芝工事が進められているほか、スケートボード場等アーバンスポーツ施設や宿泊施設などの整備が予定されている。これらの整備により、新たなイベントの開催が可能となるほか、市内のスポーツ施設と連携することで、大規模スポーツ大会やスポーツ合宿の受入が進むものと考えている。

議員 御調町で新たにスポーツ施設整備を進めてはどうか。

市長 御調町にはソフトボール球場に加え、さまざまなスポーツを楽しめる環境が整っている。今後、多目的グラウンドを含めた周辺部の活用方法等を研究し、さらなる魅力向上に努める。

「教育の耐震化」について

議員 教育環境がブラック化している中で、生徒はどうしたらよいのか。

教育長 「尾道で学んでよかった」と思える教育を目指す。

議員 大竹市、三原市、安芸高田市、海田町がしている給食無償化を、尾道市はいつからするのか。

教育長 慎重に検討している。

社会全体で「子ども」を育てる比較表

	尾道市	三原市	福山市	東広島市	廿日市市
公民館等運営 市民支援員	1人 (一部2~3人)	2人	3人	3人	5人
一世帯当たりの 町内会補助金	490円	1,155円	685円	1,900円	1,060円
地域担当職員	なし (一部あり)	あり (一部なし)	あり	あり	あり
令和4年転出超過 ランキング	1706位	1681位	1680位	42位	211位
2050年の 人口減少率	33%	38%	17%	9%	18%
おでかけ支援事業	1,270円/人	641円/人	169円/人	136円/人	なし



公明党
ふくはら けんじ
福原 謙二



住宅耐震化の促進

議員 能登半島地震は耐震基準を満たさない古い木造家屋に被害が多く出た。市は木造住宅の耐震化をどのように考えているのか。また、避難所運営に関して、要介護高齢者や障害者など要配慮者への災害時の福祉避難所の指定状況を伺う。また、避難所における女性スタッフの配置や女性相談は整備されているのか。

市長 耐震化率向上のため、木造住宅耐震診断費補助事業、木造住宅耐震改修費補助事業など各種補助制度による支援を行っている。補助制度の周知を充実させていく。福祉避難所では市内で28施設を福祉避難所として指定。また、女性への配慮、女性専用スペースの確保など配慮に取り組んでいる。

5歳児健診

議員 安心して子どもを産み育てられる環境

について、発達障がいなどを早く発見し、小学校への就学後に、環境に適応できず、不登校になったりすることがないように5歳児健診によって、特性に気づき、適切な支援や療育につなげる5歳児健診の実施についての考えを伺う。

市長 本市の5歳児相談事業は希望により相談を受付。5歳児検診は、集団検診による対象児すべてに対して実施。市の事業とは大きく違う。5歳児検診は取り組み内容など教育委員会、医師会、療育機関など関係機関と協議し保護者と対象者にとって良い手法を探っていく。

外国人人材の支援

議員 外国人技能実習生は、市の中小企業活性化の一翼を担っている。技能実習生の日本語習得、日本の生活習慣等への支援を企業と一緒に取組んでいるか。また、瀬戸内の十字路としての拠点制を生かし新たな工業団地整備と企業誘致による雇用の拡大への取り組みを伺う。

市長 外国人人材が市内企業で活躍するため支援の在り方を検討していく。産業団地は県、民間事業者との連携を軸に検討を進め産業振興に努める。



平成会
にのみや ひとし
二宮 仁



持続可能な町内会への支援策は

議員 町内会に入会しない人も増え、加入率が低下している。不動産関係の業界関係者と町内会入会促進について連携してはどうか。また、町内会貢献者を表彰してはどうか。全国では電子回覧システムを導入する町内会も増えている。講習会など本市の支援策はあるか。

市長 不動産協会との連携はない。町内会が行う情報発信については支援していく。現在の制度で町内会長の表彰は可能であり、新たな表彰制度は設ける予定はない。防災アプリと防災ラジオには各町内会等から地域内に配信する機能があり、操作方法に関する講習会などの要望があれば対応する。LINE等はスマホ教室を開催しており、町内会等の連絡網づくりに役立てて欲しい。

空き地・空き家対策

議員 空き地、空き家は所有者が管理すべきもので、市は私有財産に手を付けにくい。適切に管理してもらうため、市はどんな啓発を行い、特定空家等に認定した後の措置と成果はどうなっているか。

市長 令和4年度までに認定した81件の特定空家等に対して措置法に基づく指導等を延べ158件、勧告書1件を送付している。全体で認定の46件が解体された。空き家、空き地の発生、予防については、相続登記の義務化など令和3年4月に総合的な民事基本法の見直しがあった。不動産の相続について日頃から家族で話し合っておくことの大切さなどを市民に周知したい。

子どもの居場所として遊具の活用は

議員 1億円の寄附をきっかけに大型遊具の整備が進んだが、整備と活用は。

市長 昨年度と今年度で合計8か所の公園に大型遊具を設置することとしている。既に設置した公園ではたくさん利用していただいております。更新などは利用状況を考慮しながら考える。



青嵐会
みやち ひろゆき
宮地 寛行



制服を税金で買い与えるのは税金の無駄遣いではないか？

議員 制服は子どもが入学する際に、本来、親がお金を出して購入するものだと思う。統合する尾道みなと小学校、及び中学校は税金で制服を購入する予算が上がっている。私は、特に小学6年生や中学3年生の生徒は残り一年間しか着ることのない制服を税金で購入するのはもったいないと思っている。今まで着てきた制服を残りの1年間大切に使う方が子ども達にとっては良いのではないか？もったいないとは思わないか？また、たった一年間しか着ない制服を小学6年生や中学3年生の生徒に税金で支給するのは、納税する尾道市民の視点から見れば税金の無駄遣いではないか？

教育長 このたびの学校統合についても、保護者との協議の中で「統合校の一体感を醸成するためにも、制服等を揃えた方がよい」とい

う意見が多く出された。その一方で「制服・体操服を一齐に切り替える場合、現在の制服がもったいない」という意見も出た。最終的に開校準備委員会で検討した結果、保護者の要望を尊重し、一齐に切り替えるという結論に至った。

総体質問を終えて…

当事者である皆さんへ。現在の長江中、久保中の1年生はたった1年間しか着ない母校の制服が無駄になります。どうか「もったいない」という気持ちを大切にしてください。



日本共産党
おかの なごし
岡野 長寿



しまなみ海道は生活道路、公共交通の課題として正面から向き合え

議員 福祉施策として、小児救急の際の「橋代」助成が新規事業として提案されているが、高齢者や障がい者が通院するときには補助がない。福祉施策としても極めて限定されている。もっと広げるべき。また、橋代は市民の一般通行の問題。正面から向き合い、観光客とは違う生活道路としての地元住民補助制度をつくるべき。100円でも、200円でも軽減を。

市長 他の交通機関への影響や支援の在り方を考慮しながら必要な取組を検討する。

議員 ①通勤割引を朝夕から24時間に拡大、②登録IC間の50%割引の新たな社会実験を国土交通省が始める。尾道市も社会実験に参加できるよう緊急の申し入れを。

市長 検討する。

学校給食無償化を

議員 三原市が第2子からの給食無償化を実施する。尾道市もやるべきでは。

教育長 多額な予算が必要なので少子化対策の中で優先順位を考える。

介護保険料のため込み金(基金)16億円を取り崩して、保険料軽減を

議員 三原市は10億円基金を取り崩して介護保険料を引き下げる。尾道市ではいくら引き下げるか。

市長 基金の取り崩しにより、据え置き(同額の保険料)となる見込み。

給食費の徴収方法の改善(公会計に)

議員 教師の負担軽減、いじめ問題を誘発する給食費の徴収方法を改善すべきではないか。

教育長 令和7年度は、給食費を学校ではなく、市が直接徴収する公会計制度とし、教職員の負担軽減を図る。

意見書

※意見書とは、市の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめた文書で、国会や関係行政庁に提出します。
2月定例会では下記の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

イスラエル・パレスチナの武力闘争の即時停戦と 人道支援を求める意見書

令和5年10月7日、ハマス等武装勢力がガザ地区からイスラエルに向けて多数のロケット弾を発射し、イスラエル領内に武力攻撃を行いました。また、イスラエルからもガザ地区への空爆、地上侵攻などが行われ、即時停戦を求める国際世論にもかかわらず紛争が続いています。

多数の死傷者が発生し、一般市民も多大な被害を受け、今なお大きな惨劇が続いており、被害を受けている多くは、弱い立場の女性や子どもであります。

同年12月12日の国連総会の緊急特別会合で、「人道目的の即時停戦」を求める決議案に153か国が賛成しました。人道的休戦を求める多くの国の声やパレスチナ情勢が悪化していることを踏まえ、速やかな人道支援や停戦が求められています。

よって、政府及び国会におかれましては、次の事項を実現するよう強く要望します。

- 1 直ちに停戦を求めること。
- 2 停戦に至るまで人道危機に直面する人々の生活を守るよう求めること。
- 3 人質の即時解放、人道状況の改善及び一日も早い平和的解決を求めること。

広島県市議会議長会 東部ブロック議員研修会

令和6年2月2日、府中市文化センター（ジーベックホール）において、竹原市・三原市・尾道市・福山市・府中市の5市議員が集まり、広島県市議会議長会東部ブロック議員研修会が開催されました。初めに、開催市の府中市長より挨拶があり、続いて、広島県副知事 山根健嗣氏より「人口減少問題～雑感～」というテーマでご講演いただき、その後、公益財団法人 中国地域創造研究センター総合研究リーダー・主席研究員の柴田浩喜氏より、「人々の希望と地域選択」というテーマでご講演いただきました。

お二方とも、全国的に問題となっている人口減少・少子高齢化社会による様々な影響についてお話しいただき、その中で課題解決のためには、これからも地元でいたいと思えるまちづくり、将来に希望が持てる魅力あるまちづくりに努めていかないといけないと改めて認識しました。その後、意見交換会を行い、今後も互いに連携して地域課題の解決に向けて取り組んでいくことを確認しました。（報告：檀上政樹）



議案に対する各会派の賛否一覧

2月21日議決


(○：賛成、×：反対、△：賛否両方、※：欠席あり)


議案			会派名 (令和6年2月21日現在)									
			議決結果	潮風 おのみち	木曜 会	市民 連合	公明 党	平成 会	青嵐 会	新誠 会	日本 共産 党	参政 党
種類	議案番号	議案名										
改条例	議案第15号	尾道市手数料条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
補正予算	議案第1号	令和5年度尾道市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第2号	令和5年度尾道市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第3号	令和5年度尾道市千光寺山索道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第4号	令和5年度尾道市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第5号	令和5年度尾道市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第6号	令和5年度尾道市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第7号	令和5年度尾道市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	△	○	○	○	※	○	○	○	○
その他の議案	議案第8号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第9号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第10号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第11号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第12号	公有水面の埋立てにつき意見を述べることについて	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第13号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	議案第14号	業務委託契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	※	○	○	○	○

【会派等で意見が割れた議案等】

3月19日議決

(○：賛成、×：反対、△：賛否両方)

議案			会派名 (令和6年3月19日現在)									
			議決結果	潮風 おのみち	木曜 会	市民 連合	公明 党	平成 会	青嵐 会	新誠 会	日本 共産 党	無所 属
種類	議案番号	議案名										
改条例	議案第39号	尾道市立学校設置条例の一部を改正する条例案	原案可決	△	○	○	○	○	○	○	○	×
当初予算	議案第16号	令和6年度尾道市一般会計予算に対する修正案	修正案否決	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	議案第16号	令和6年度尾道市一般会計予算 	原案可決	△	○	○	○	○	○	○	×	×
	議案第24号	令和6年度尾道市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×
	議案第27号	令和6年度尾道市病院事業会計予算	原案可決	△	○	○	○	○	○	○	○	○
請願		『島根原発2号機再稼働中止を求める意見書』の提出を求める請願	不採択	△	△	○	×	×	×	×	○	○

 …P11のピックアップ議案で一部を紹介!!

【全会一致で可決したもの】

3月19日議決

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第31号	尾道市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	議案第20号	令和6年度尾道市駐車場事業特別会計予算
議案第32号	尾道市児童遊園地設置及び管理条例の一部を改正する条例案	議案第21号	令和6年度尾道市夜間救急診療所事業特別会計予算
議案第33号	尾道市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例案	議案第22号	令和6年度尾道市介護保険事業特別会計予算
議案第34号	尾道市介護保険条例の一部を改正する条例案	議案第23号	令和6年度尾道市渡船事業特別会計予算
議案第35号	尾道市指定地域密着型サービス事業者の指定の申請者に関する事項並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案	議案第25号	令和6年度尾道市水道事業会計予算
議案第36号	尾道市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	議案第26号	令和6年度尾道市下水道事業会計予算
議案第37号	尾道市渡船条例の一部を改正する条例案	議案第28号	福山市と尾道市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について
議案第38号	尾道市営住宅設置、整備及び管理条例の一部を改正する条例案	議案第29号	尾道市過疎地域持続的発展計画の変更について
議案第40号	尾道市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例案	議案第30号	公の施設の指定管理者の指定について
議案第41号	尾道市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例案	議案第46号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
議案第42号	尾道市市民スポーツ広場設置及び管理条例の一部を改正する条例案	議案第47号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
議案第43号	尾道市消防手数料条例の一部を改正する条例案	議案第48号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
議案第44号	尾道市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	議案第49号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
議案第45号	尾道市税条例の一部を改正する条例案	議案第50号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を聞くことについて
議案第17号	令和6年度尾道市港湾事業特別会計予算	議案第51号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を聞くことについて
議案第18号	令和6年度尾道市国民健康保険事業特別会計予算	議案第52号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を聞くことについて
議案第19号	令和6年度尾道市千光寺山索道事業特別会計予算	議案第53号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を聞くことについて
		建第1号	イスラエル・パレスチナの武力闘争の即時停戦と人道支援を求める意見書(案)

ピックアップ議案 —この議案ってどんなこと??—

※1万円未満切捨

議案第16号 令和6年度尾道市一般会計予算

- 保育料第2子以降無償化 …………… 1億467万円
- 交通費助成事業（しまなみ海道通行料金負担軽減事業） …………… 1,633万円
- シティプロモーション推進事業 …………… 3,173万円
- 個人住民税定額減税・定額減税補足給付金給付事業 …………… 10億7,901万円
- 物価高騰重点支援臨時給付金給付事業 …………… 7億637万円
- スポーツタウン尾道推進事業 …………… 1,997万円
- 書かない窓口導入事業 …………… 1,116万円

しまなみ海道通行料金等調査特別委員会は 提言書を市長に提出しました

しまなみ海道通行料金等に対する 負担軽減施策の提言について（抜粋）



しまなみ海道は、島嶼部沿線住民の生活道路として日常生活に欠かせない唯一の幹線道路です。

つきましては、下記のとおり、現行の支援策の拡充、新たな支援策の検討により、しまなみ海道通行料金等に対する負担軽減を図るよう提言します。

- (1) 尾道市障害児通所等交通費助成事業における助成限度額を拡充すること。
当該助成金額1か月あたりの上限額を現行の1万円から3万円に拡充すること。
- (2) 小児科への通院助成制度を新設すること。
小児科への通院に限り、義務教育期間の満了まで、1人上限1万円/年を交通費助成すること。
- (3) 出産後の産婦健康診査に対する助成制度を新設すること。
産後8週未満の産婦健康診査2回分について交通費助成すること。
- (4) 紹介状持参による島外への通院に係る交通費助成制度を検討すること。
当該助成制度の導入に向け、実態調査を行い、早期の実現に努めること。
- (5) 尾道市じん臓機能障害者通院費助成事業における助成対象地域を拡充すること。
当該地域について、現行の「因島原町、因島洲江町、瀬戸田町」から因島、百島を含む地域に拡充すること。

市議会からのご案内

6月定例会の日程

6月 5日	議会運営委員会	10:00
6月17日	本会議（開会）	13:30
6月19日	本会議（一般質問）	10:00
6月20日	本会議（一般質問）	10:00
6月21日	本会議（一般質問）	10:00
6月25日	総務経済委員会	13:00
6月26日	福祉環境委員会	13:00
6月27日	教育スポーツ委員会	13:00
7月 2日	本会議（閉会）	13:30

※6月定例会の日程は6月5日の議会運営委員会で正式に決定しますので、変更の可能性があります。

※傍聴を希望される方は議会事務局までお越しください。座席は先着順です。

編集後記

議会だより第48号が完成しました。

今回は「総体質問」です。市長から新年度予算案が提示された後、市長の政治姿勢などについて問うもので、各会派から1名登壇いたしました。

市長も議員も目指す所は同じ「尾道市民のしあわせ」だと思いますが、そこに至るための施策の内容、プロセス等の考え方は多種多様です。市民の皆さまにはそのあたりの視点をもってご覧いただければと思います。

また、各議員の二次元バーコードから動画をご覧頂けます。ぜひとも臨場感を体感してみてください。

議会だより編集委員会委員

委員長：岡村 隆

副委員長：二宮 仁

新地 貴史 中西 海斗 冠 匡晃

檀上 政樹 岡野 長寿 高本 訓司

お問い合わせ先

尾道市議会事務局

〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号

TEL 0848-38-9371 FAX 0848-38-9339

★「市議会」や「おのみち市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。お寄せいただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

次号は令和6年8月13日発行予定です。

